

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、
一部情報については、マスキング処理をしております。

「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」における 工事費増額の間接検証について（事務局確認）

**確認対象：500kV宮城丸森開閉所新設
500kV宮城中央（変）引出口増設
調相設備整備（宮城中央変電所）**

2026年7月30日
広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会事務局

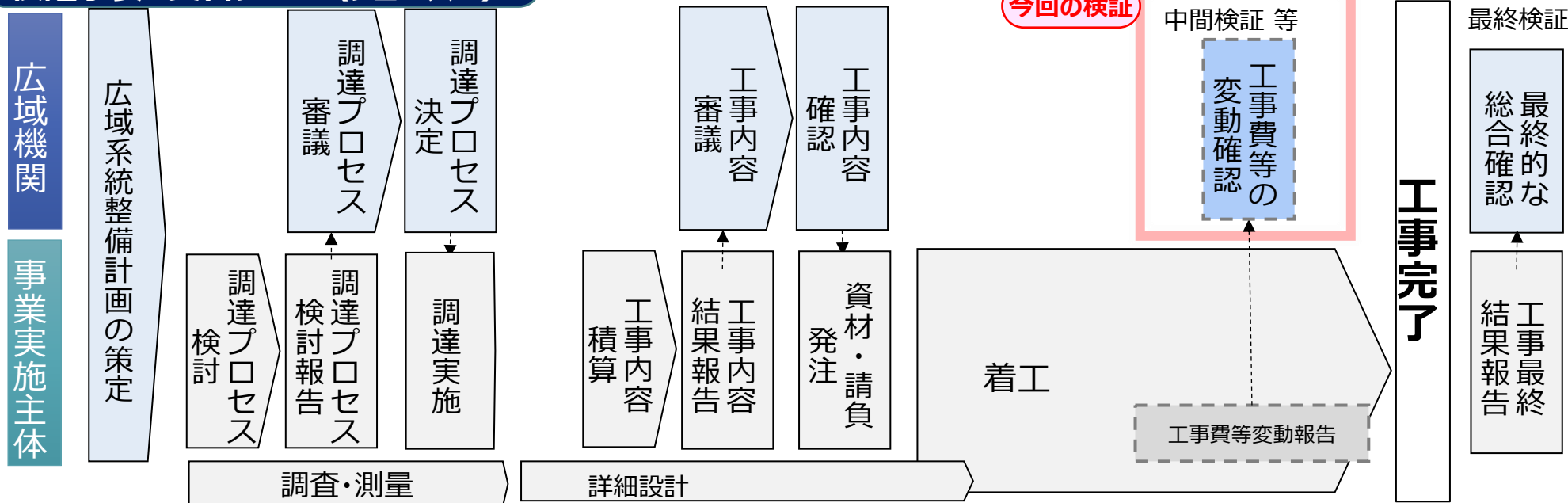
- 1． 本日の検証小委の位置付け
- 2． 本日の検証対象
- 3． 各要因における増額説明
- 4． 本日の検証まとめ

1. 本日の検証小委の位置付け

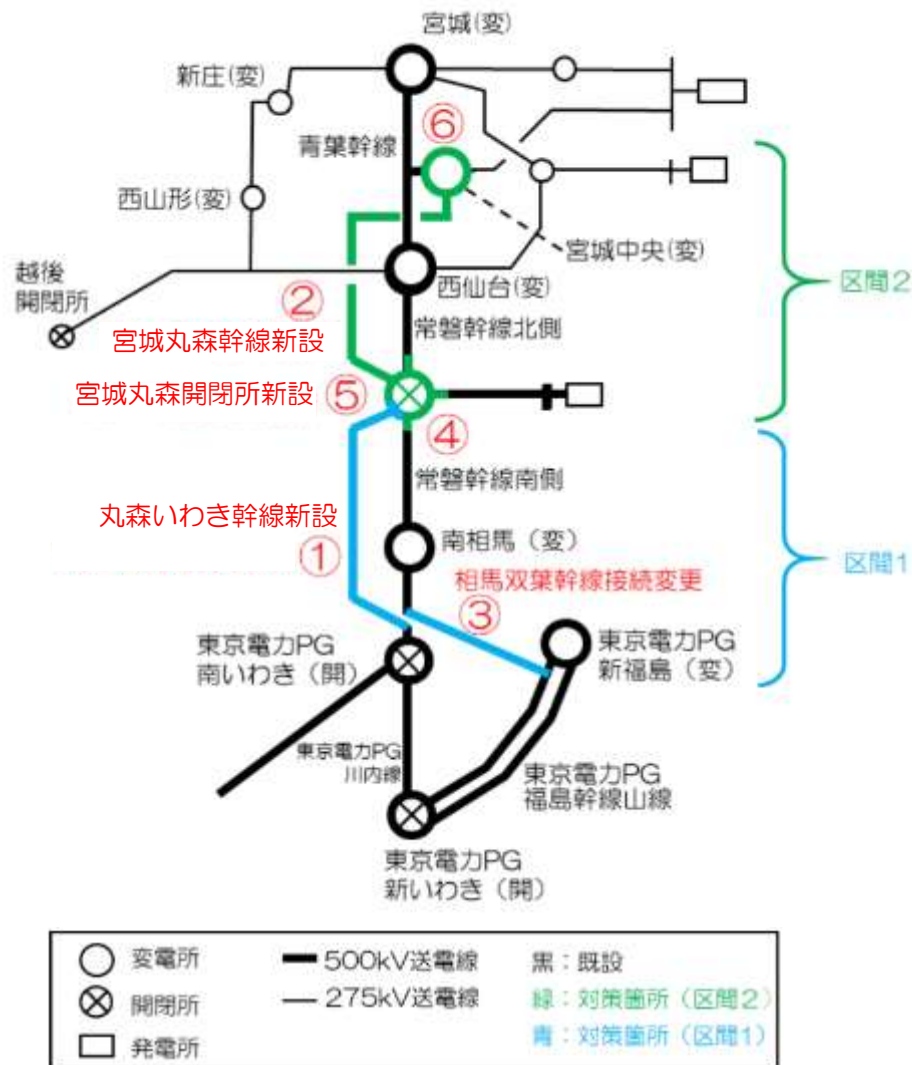
2

- 検証小委フェーズ2では、整備計画の総工事費からの増額（物価上昇を除く）が予備費額を超過した場合や、事業実施主体からの実施依頼があった場合に、中間検証を実施している。
- 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画のうち、東北電力ネットワーク（以下、東北NW）の工事費が増額しており、東北NWからは、レベニューキャップ制度の第2規制期間における申請を見据え、「広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン」（26年4月15日策定、以下、ガイドライン）に基づく予備費執行及び物価上昇の中間検証について実施依頼があった（第101回広域系統整備委員会にて報告済）。
- 今回、東北NWより報告いただいた工事費増額の一部内容について検証を実施したため、ご審議いただきたい。

検証小委 受審フロー（フェーズ2）



■ 東北東京間の連系線を455万kW（573万kW→1,028万kW）増強する。



◆費用の概算額：3,539億円
 工事費の概算額：1,533億円
 運転維持費の概算額：2,006億円

◆工事完了予定時期：2027年11月

◆事業実施主体：東北NW、東京PG

工事 区間	個別工事件名	事業 実施主体
今回 区間 2	⑥ 宮城中央(変)送電線引出	東北NW
	② 宮城丸森幹線新設	東北NW
	④ 宮城丸森(開)既設送電線引込	東北NW
今回 区間 1	⑤ 宮城丸森開閉所新設	東北NW
	丸森いわき幹線新設	東北NW
	① 南いわき(開)PCMリレー取替	東京PG
	③ 相馬双葉幹線接続変更	東北NW
今回 その他	福島幹線山線No.10鉄塔建替	東京PG
	— 調相設備整備、給電システム改修 系統安定化システム整備	東北NW
	— 給電システム改修	東京PG

(参考) 個別工事件名ごとの概算工事費（概算工事費・変動額・契約完了比率）

送電工事 変電工事

(単位：億円)
端数処理により合計値が合わない場合がある

個別工事件名番号	個別工事件名	事業実施主体	整備計画 2021年5月	事業実施主体 報告額 (2026年3月)		主要設備・ 主要工事等の 契約完了比率 () 内は概算工事費 額に対する主要設備・主 要工事等の額が占める 割合	事業実施主体 報告額 (2026年3月)
			概算工事費	概算工事費	整備計画からの変動額 () 内は増減率		
①	丸森いわき幹線新設	東北NW				77% (99%)	
	南いわき(開)PCMリレー取替	東京PG				37% (100%)	
②	宮城丸森幹線新設	東北NW				99% (99%)	
③	相馬双葉幹線接続変更	東北NW				73% (89%)	
	福島幹線山線No.10鉄塔建替	東京PG				99% (78%)	
④	宮城丸森(開)既設送電線引込	東北NW				98% (58%)	
⑤	宮城丸森開閉所新設	東北NW				100% (64%)	
⑥	宮城中央(変)送電線引出	東北NW				100% (76%)	
—	調相設備整備 給電システム改修 系統安定化システム整備	東北NW				55% (98%)	
—	給電システム改修	東京PG				0% (100%)	
	東北NW合計		1,515	2,024	+509 (+34%)	86% (90%)	
	東京PG合計		18	25	+7 (+40%)	82% (82%)	
	全体合計		1,533	2,049	+516 (+34%)	—	

(参考) 今回の中間検証における対象について

- 本日の検証対象を、「広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン」（26年4月15日策定、以下、ガイドライン）で定める分類に当てはめると、下表のとおり。

	予備費相当※			物価変動	調達低減	コスト低減
	判断基準①	判断基準②	判断基準③			
送電工事 (289億円)	現在確認中	現在確認中	現在確認中	今後確認予定	今後確認予定	今後確認予定
変電工事 (19億円)	現在確認中	本日の検証対象	—	今後確認予定	今後確認予定	今後確認予定

※ 本整備計画はガイドライン策定前に策定された計画につき予備費は織り込まれていないものの、ガイドラインで定める検証手続きを準用し、ガイドライン上の予備費に相当する費用を“予備費相当”として取り扱い、検証を行うこととする

ガイドラインにおける扱い

＜予備費の確認＞

工事期間中に計画段階で予見困難な事象により費用増が発生し、予備費を執行する見込みとなった場合または執行した場合、事業実施主体は、その理由、対応内容、見込額、及び具体的な用途について整理でき次第、速やかに広域機関に対し報告する。このとき、対応内容は工期や工事費影響を踏まえた合理的な手段による対策であることを説明する。広域機関は、検証においては、執行理由が予見困難な事象の定義に合致するか、執行内容や執行額は工期や工事費への影響を踏まえて当該事象への対応として合理的であったか等を確認する。

【予備費の対象の判断基準】

判断基準①：災害等、事前に発生頻度の想定や対策費の算定が困難な事

判断基準②：調査・測量の結果や資材調達等に起因するもので、事業者の責に帰さない事象

判断基準③：関係者調整、法令改正等の外生的要因による事象

＜物価上昇の確認＞

事業実施主体は、整備計画の策定後に、物価上昇による調達価格や工事費等の増加が見込まれ検証が必要な時は、建設資材価格指数、労務費指数など、対象費目に適した複数の合理的に説明できる指標を用い、用いた指標、当該指標を用いた根拠、算定期間、算定方法の妥当性について、広域機関に報告を行うものとする。

2. 本日の検証対象（2/2）

7

- 工事費増額となった要因別の内訳は、以下のとおり。
- 次スライドからは、各要因について記載する。

工事	ガイドライン上の分類	個別工事件名	要因概要	増額 [億円]	スライドNo.
変電 工事	予備費相当： 判断基準②	宮城丸森開閉所新設	①周囲柵周辺のアスファルト舗装追加		9
			②配電盤資材の詳細設計		10～14
		宮城中央(変)送電線引出	③開閉器の仕様変更		16
			④除却費の増		17
		調相設備整備 (宮城中央変電所)	⑤請負（電気）工事の詳細設計		19
			⑥請負（土木）工事の詳細設計		20～23
合 計					－

宮城丸森開閉所新設

3. 各要因における増額説明

宮城丸森開閉所新設：①周囲柵周辺のアスファルト舗装追加

3. 各要因における増額説明

宮城丸森開閉所新設：②配電盤資材の詳細設計（1/3）

(参考) GIS新設に関するVE提案の採用について

3. 各要因における増額説明

宮城丸森開閉所新設：②配電盤資材の詳細設計（2/3）

3. 各要因における増額説明

宮城丸森開閉所新設：②配電盤資材の詳細設計（3/3）

(参考) 丸森開閉所新設の基礎工事における転石出土

宮城中央(変)送電線引出

3. 各要因における増額説明

宮城中央(変)送電線引出：③開閉器の仕様変更

3. 各要因における増額説明

宮城中央(変)送電線引出：④除却費の増

調相設備整備 (宮城中央変電所)

3. 各要因における増額説明

調相設備整備（宮城中央変電所）：⑤請負（電気）工事の詳細設計

3. 各要因における増額説明

調相設備整備（宮城中央変電所）：⑥請負（土木）工事の詳細設計（1/4）

3. 各要因における増額説明

調相設備整備（宮城中央変電所）：⑥請負（土木）工事の詳細設計（2/4）

3. 各要因における増額説明

調相設備整備（宮城中央変電所）：⑥請負（土木）工事の詳細設計（3/4）

3. 各要因における増額説明

調相設備整備（宮城中央変電所）：⑥請負（土木）工事の詳細設計（4/4）

- 本日の検証対象の各要因に対する事務局による見解は以下の通りであるが、その内容に疑義がないか、ご審議いただきたい。
- 今後も東北NWと連携し、引き続き検証を進めていく。

工事	ガイドライン上の分類	個別工事件名	要因概要	事務局の見解
変電工事	予備費相当：判断基準②	宮城丸森開閉所新設	①周囲柵周辺のアスファルト舗装追加	妥当
			②配電盤資材の詳細設計	妥当
		宮城中央(変)送電線引出	③開閉器の仕様変更	妥当
			④除却費の増	妥当
		調相設備整備 (宮城中央変電所)	⑤請負（電気）工事の詳細設計	妥当
			⑥請負（土木）工事の詳細設計	妥当